

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 273-0048

所在地 千葉県船橋市丸山2丁目10番15号

評価機関名 NPO法人 ヒューマン・ネットワーク

認証評価機関番号

機構 06 - 163

電話番号 047-404-6300

代表者氏名 吉谷 健二

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①		経営	H0306095
	②		福祉	H1901013
	③		福祉	H2201006
	④		福祉	H1701027
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	Gakkenほいくえん 旗の台			
事業所連絡先	〒	142-0064		
	所在地	東京都品川区旗の台3丁目3番20号		
	TEL	03-6451-3467		
事業所代表者氏名	園長 尾崎 由美子			
契約日	2023 年 6 月 1 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 9 月 1 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 10 月 3 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 6 月 27 日			
自己評価結果報告日	2023 年 10 月 3 日			
訪問調査日	2023 年 10 月 10 日			
評価合議日	2023 年 10 月 11 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事業所が目指している理念や目標をどのように実現しているのか、そのプロセスを組織運営の専門家と現場を熟知した評価者が丁寧に確認し、公正・公平に評価した。利用者調査は案内文を事業所から配布して頂き、Webを活用して評価機関に直接送って頂いた。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名 代表取締役 山崎 知恵

印

<p>1</p>	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>【学研グループ企業理念】 すべての人が心ゆたかに生きることを願い 今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します</p> <p>【保育理念】 育ちのチカラが輝く、心ゆたかな未来をつむぐ</p> <p>【保育方針】 ・子どもが愛されている実感を持ち、他者との関わりを楽しめる場を創出します ・子どもの“やりたい”にことん寄り添い、「好き」を探求する時間を大切にします ・それぞれのご家庭の子育てパートナーとして、喜びと感動を共有します ・人と人、人と場をつなげ、学び合い、育ち合える関係を構築します</p> <p>【保育目標】 ・しなやかな心を持ち、思考し行動する ・自分に自信を持ち、想いや考えを伝える ・友達を大切にし、共に創造することを楽しむ ・周りと関わり、さまざまな違いを認め、尊重し合う</p> <p>【保育に対する考え方】 Gakkenほいくえんは、すべての子どもが生まれながらに持っている 「育ちのチカラ」を輝かせる保育を行っています。</p>
<p>2</p>	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>1.コミュニケーション能力の高い人材 ・ココファングループが提供するサービスは個人が単独で提供していくものではなく、職員が協力しながら提供していくもののため、相手の意見に耳を傾け、聴く力と理解する姿勢、また、自分の考え・意見を相手にわかりやすく伝える工夫ができる力が重要です。</p> <p>2.成功・達成させる信念を持っている人材 ・ココファングループでは企業理念・ビジョンの実現に向けて、仕事の成功・達成を求めています。職員一人ひとりが成功・達成に向けての信念を持ち、自分はどう行動するべきか、他の職員とどう協力していくべきかを考えて実行し、将来を予測しながら柔軟な発想で仕事が進められる人材を求めています。</p> <p>3.責任感のある人材 ・ココファングループでは、社員一人ひとりの職務・ステージに応じて「期待する役割」を設定しています。一人ひとりが役割を果たすことで、スキルアップ・キャリアアップが図られ、理念・ビジョンの達成に繋がるという考えに基づいた人事評価制度を取り入れています。自らの役割を理解し、責任感を持って仕事を完結できる人材には、経験・キャリアを問わず、様々なステージが用意されています。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>○子どもが好きで、子どものことを一番に考えられる保育者であってほしい ・大好きな子どものことを思い、ともに成長や自立を願い考え、全力で子どもと向き合って保育にあたってほしい。・子どもの成長・発達に合わせた保育内容や環境設定、計画をたて、無理なく対応できる保育者であってほしい。・様々な個性や特性あるの子ども達と向き合い、必要な配慮を行い、子どもの主体性を見守れる保育者であってほしい。</p> <p>○職員同士思いやり、助け合える関係を築いてほしい ・相手のことを考え尊重し、自分がどうすれば他の職員が動きやすいかを考えられる人になってほしい。・経験年数に関係なく、相談や質問がしやすく、思ったこと・感じたことが言え、指摘し合える関係であってほしい。</p> <p>○「これは誰にも負けない」と自信を持って言える得意なことを1つは持ってほしい ・自信を持ってできることを持ちさらなる向上心を持って保育にあたり、子ども達にその楽しさを伝えてほしい。</p> <p>○仕事の効率化をはかり、仕事だけでなく全てのことで前向きに、素直な人であってほしい ・みんなが働きやすくなるか考え行動し、何に対しても前向きに取り組める人であってほしい。</p>

調査対象	全園児の保護者を調査対象とした。(兄弟・姉妹で利用している場合は一世帯一人として回答をお願いした)		
調査方法	アンケート方式で実施した。保育所より保護者に案内文を配布して頂き、アンケートはWebを活用し匿名で評価機関に直接送信して頂いた。		
利用者総数	45		
利用者家族総数(世帯)	39		
共通評価項目による調査対象者数	39		
共通評価項目による調査の有効回答者数	28		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	71.8		

**利用者調査全体のコメント**

保護者アンケート集計結果では総合満足の回答として「大変満足」46%「満足」50%であり、満足以上の回答計が96%と高い評価であった。代表的な自由意見として「子どもの興味が広がり他人との関わりや協調性など育て良い活動になっている」「先生は温かく優しい子どもに接して下さり子どもが楽しく通っている」「子育てに疲れているときなど話しやすく相談し易いので助かっています等であった。

17評価項目別の満足度は、  
 100%の肯定的な「はい」回答項目は1項目6%、  
 90%台の項目は4項目24%、  
 80%台の項目は8項目47%、  
 70%台の項目は1項目6%  
 60%台の項目は2項目12% 50%以下の項目は項目%であった。  
 80%以上「はい」肯定的な回答項目が項目で全体の77%にあたり、項目別にも高い評価であった。

**利用者調査結果**

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	28	0	0	0
「はい」回答100%であり極めて高い評価であった。代表的な意見は「心身発達していると感じます」「協調性や言葉数は園で過ごす時間から得られたものだと思います」「保育園に通うようになり、新しい言葉をいっぱい覚えました。家では経験できないこともいっぱい教えて頂いて、すごくいい刺激になっています」等であった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	27	1	0	0
「はい」回答96%、「どちらともいえない」回答4%で大変高い評価であった。代表的な意見は「よく歌を覚えて自宅でも歌っています」「サーキット遊びや制作が楽しいようで、最近は家でダンスも披露してくれます」「制作はとても楽しい時間となっていると感じます」等であった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	25	3	0	0
「はい」回答89%、「どちらともいえない」回答11%で高い評価であった。代表的な意見は「食事は栄養バランスが考慮されており、家で食べないものも園だと食べてくれるので、非常に有難いです」「美味しいとほぼ完食している印象です」「苦手の野菜も頑張って食べたと教えてくれます」「子供から頑張ろうとする配慮があると感じています」等であった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	17	9	2	0
「はい」回答61%、「どちらともいえない」回答32%、「いいえ」回答7%であった。代表的な意見は「水遊びをしてくれたり、夏祭りをしてくれたりと、大変ありがたいです」「まだコロナ明け直後ということもあり、十分とは言えませんが、行事も増えてきて、よくしていただいていると思っています」「今は暑いから難しいけど室内でもやれる事をしてきているし、外遊びもさかんにしてきていてありがたい」「季節のイベントは楽しんでいるようです」等であった。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	20	0	1	7
非該当と回答された方を除くと、「はい」回答95%、「いいえ」回答5%で高い評価であった。代表的な意見は「遅れるときに電話を入れると、温かい言葉で接していただき有難いです」「いつも優しいご配慮をいただき感謝しております」等であった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	23	5	0	0
「はい」回答82%、「どちらともいえない」回答18%で高い評価であった。代表的な意見は「施設内はいつも整理整頓されていて危険性は感じません」「地震の時、自宅でも頭を守るポーズをしました。何かあった時の行動も学んでいると思いました」等であった。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	25	2	0	1
「はい」回答89%、「どちらともいえない」回答7%で高い評価であった。代表的な意見は「きちんとアンケートをしてくれて意見を反映してくれている」「十分な配慮があると思います」等であった。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	24	3	1	0
「はい」回答86%、「どちらともいえない」回答11%、「いいえ」回答4%であった。代表的な意見は「システムで気になることは聞いたり、書いたりして相談できます」「子育ての対応に困っている、悩む時はいつもお話を聞いていただき導いてもらっています」等であった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	25	3	0	0
「はい」回答89%、「どちらともいえない」回答11%で高い評価であった。代表的な意見は「子どもが自宅でクイックルワイパーを見て、先生がいつもやってる、と言ったので綺麗だと思います」「比較的きれいだと思う」「清潔感があります」等であった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	27	1	0	0
「はい」回答96%、「どちらともいえない」回答4%で大変高い評価であった。代表的な意見は「子どもがどんなに小さくても、丁寧な言葉で伝えてくださっています」「みなさん謙虚だと思いますし、子どもに優しいです」「職員の言葉遣いや態度、服装は適切だと思います。皆様にやさしい言葉をかけてもらっています」等であった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	25	1	1	1
「はい」回答89%、「どちらともいえない」回答4%、「いいえ」回答4%であった。代表的な意見は「ケガをした時はきちんと説明して教えてくれるし、体調が悪ければ教えて様子を見て対応してくれる」「適切なご判断で対応してもらっていると思います」等であった。□				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	20	4	0	4
「はい」回答71%、「どちらともいえない」回答14%であった。代表的な意見は「お迎えに行くとき教えて頂けます」「いけない事はわかる様に一対一でお話ししている、双方の意見をきちんと聴いている先生も見た事がある」「信頼しています」等であった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	26	2	0	0
「はい」回答93%、「どちらともいえない」回答7%で大変高い評価であった。代表的な意見は「子供の気持ちに寄り添った対応をしていると思います」「担任や副担任はよく見てくれていると思う」等であった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	23	2	0	3
「はい」回答82%、「どちらともいえない」回答7%で高い評価であった。代表的な意見は「配慮し対応をされていると感じます」「プライバシーを守ってくれているとは思いますが、行き過ぎと感ずることもある」等であった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	23	5	0	0
「はい」回答82%、「どちらともいえない」回答18%で高い評価であった。代表的な意見は「わかりやすい説明だと思います」「毎日子供の様子について丁寧に話して下さりとても感謝しています」「離れている時間が長いので、保育園でどのように過ごしているか聞けてとても嬉しいです」等であった。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	18	4	1	5
「はい」回答64%、「どちらともいえない」回答14%、「いいえ」回答4%であった。代表的な意見は「きちんと対応してくれると思います」「先生方も大変だと思うので、要望は中々伝えにくいです」等であった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	13	5	4	6
「はい」回答46%、「どちらともいえない」回答18%、「いいえ」回答14%であった。代表的な意見は「必要だと感じたことがない」「職員以外の人にも相談できることをあまり認識していません」等であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリ1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
		○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
		○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	
	○非該当	
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	
	○非該当	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
	○非該当	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
	○非該当	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
	○非該当	
カテゴリ1の講評		
<p>保育理念「育ちのチカラが輝く」の実践プロセスで理念の理解を深めている</p> <p>保育理念「育ちのチカラが輝く、心ゆたかな未来をつむぐ」コンセプトとして「あそびが学びに、学びがあそびに」を掲げ、職員は入社時の研修や社内研修などで理解を深めている。園では職員会議の際に保育理念などを確認・唱和して、年間・月間指導計画や週・日案に具体化し、実践・評価・反省することで、実践のプロセスで理解を深める様にしている。保護者には目に触れやすいように玄関に掲示し、実践内容は園だよりや日々の連絡帳他に伝え、懇談会や個人面談で説明している。</p> <p>園の目標を定め、民主的で育成型のリーダーシップを発揮している</p> <p>保育理念に基づく園の目標を定め、毎月の職員会議や昼礼で話し合い共有している。保育の質に関する目標としては、1)子ども一人ひとりに合わせた環境設定、2)子どもが自由に遊びを選べる環境設定で主体性を育む、3)ごっこ遊びや運動遊び等で集団の中で友達を作り協働して成し遂げコミュニケーション力や協調性を育む保育を目標としている。働き甲斐のある職場づくりとして、話しやすい職場、会議で意見が言いやすく、やりたいことが展開できる職場で、保育が楽しく職場が楽しい園づくりを目標としている。</p> <p>園内の案件は様々な会議で話し合って決めている</p> <p>園内の案件は職員会議、日々のクラスミーティング、昼礼、安全対策会議等で話し合って決定している。職員会議では、園長会の情報伝達、研修報告、給食会議の情報伝達、行事予定、各クラスの現状や子ども達の様子共有など実施している。日々のクラスミーティングでは子どもの成長の様子と保育内容の計画等日々話し合っている。昼礼では各クラスの子どもの成長の様子や保護者の要望など共有している。安全対策会議では事故報告・ヒヤリハット報告の事故原因と対策を共有している。</p>		

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
園を取り巻く環境条件を把握して存在価値の高い園を目指している		
園を取り巻く環境条件の把握として、少子化と競争激化が進むので存在価値の高い園の評価を得る事と把握している。利用者ニーズはアンケートや運営委員会、個人面談等を実施し、就労する保護者への配慮、行事の希望、保育の質の向上等と把握している。職員ニーズは日常の会話より把握し、職員配置とシフトの余裕、休暇取得、コミュニケーション研修、保育力向上等と把握している。各課題は園内、エリア、本社を通し各レベルで検討し戦略方針を立てて解決に努めている。		
中期計画・事業計画はあるが、一層、意欲ある目標を設定することが望ましい		
厳しい環境条件を把握して理念を実践する中期計画・事業計画を作成している。事業計画としては、保育体制、指導計画、職員研修、行事予定、安全防災計画等が計画されている。当地域には多くの競合保育園・幼稚園があり、競争激化が予測され存在価値の高い園が求められる。計画は作成されているが、目標を見直し、保育内容・働きやすく働き甲斐のある職場・保護者連携・地域貢献等について意欲ある具体的な目標を設定することが望ましい。		
計画の実行は役割分担を明確にして各種会議で確認している		
計画の実行は役割分担を明確にして各種会議で確認している。保育内容は年間・月間指導計画、週日案の実践を振り返ってクラスミーティング、職員会議で確認し次の計画に反映している。職員育成は期待役割シートの自己評価と面談、年間研修計画への計画的な参加、園内研修等で進めている。行事については行事会議、事故防止は安全対策会議等で確認している。今後一層中期計画・目標を見直し、年間・月間、週・日に数的目標をもって反映し課題と計画をより具体的に進捗を把握することが望ましい。		

3 カテゴリー3		
経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当



### カテゴリー3の講評

#### コンプライアンス・コードやマニュアルを活用し、遵守すべき規範を意識づけている

新人職員へは新入社員研修で遵守すべき規範や倫理観を伝え、園に配属後も就業規則や各種マニュアルを活用し、保育サービスに従事する心構えを各々が持てるように努めている。会社として守るべきコンプライアンス・コードが決められており、1人1冊配布し、いつでも確認できるようにしている。コンプライアンス研修資料を年に1回確認することで、職員が規範などをより意識できるようにしている。また、入職時には全職員へ守秘義務の契約書を義務づけ、それに付随する内容を説明し、個人情報・人権等に配慮するよう周知している。

#### セルフチェックにより人権擁護の意識を高め、虐待への対応もできるよう努めている

人権擁護のセルフチェックを年に1回実施し、職員の子どもの接し方について振り返る機会を設けている。それを基に職員同士で意見交換をし、気を付けるポイントや改善点等を保育へ活かしている。また、年に2回自己評価、期待役割面談シートを用いた園長との面談も行っており、個人としての振り返りの場も設けるようにしている。虐待マニュアル、フローチャートを整備し、職員間で共有することで、虐待があった場合に区や子ども家庭支援センターとの連携を取り、迅速かつ子どもが安心して過ごせる対応ができるように準備している。

#### ご意見箱やアンケート等苦情解決に努めているが、より保護者の意向把握に期待したい

苦情解決フローチャートを掲示し、玄関にはご意見箱を設置し、保護者がいつでも意見が言えるように努めている。個人面談や送迎時等、保護者の意見に耳を傾け、意向を伺うように努めている。また、第三者評価のアンケートの他に年に1回保護者アンケートを実施し、アンケート結果の掲示により公表している。苦情解決の仕組みがありアンケート等保護者の意見を知る機会を作っているが、今回の保護者アンケートでは要望を言う機会が少ない、伝えにくい等の意見も出ているため、より保護者とのコミュニケーションを深め、意向把握することに期待したい。

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 <b>5/5</b>
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 <b>4/4</b>
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p><b>安全対策会議で事例を共有し、事故防止対策を徹底している</b></p> <p>すべてのリスクに対して対策が必要としているが、特に重要な事故はアレルギー対応、SIDS、食事窒息、誤飲、置き去り、閉じ込め等とし、優先順位の高いリスクに対して、運営ガイドライン、事故対応マニュアル等で研修し、安全対策会議を開催しヒヤリ・ハット報告、事故報告等の集計等に基づいて話し合い、保育安全クイズなど通して事故防止を徹底している。また、発生事例はその都度原因と対策を徹底している。感染症対策は新型コロナやインフルエンザなど流行時にガイドラインに沿って手洗い・消毒など徹底している。</p> <p><b>毎月防災訓練を実施し、子どもは家でも地震等の時は意識するようになっている</b></p> <p>防災対策として、危機管理ガイドラインを整備し、毎月、防災避難訓練を実施している。子ども達は家でも地震などの時は防災訓練の内容を意識する様になっている。広域避難場所・一時避難場所を掲示し、年1回は引き渡し訓練を実施している。また、年2回消防用設備点検実施者より消火器を使用した消火訓練を実施している。法人でBCP事業継承計画を作成しているが、園独自のBCP計画は作成中なので、早期に完成し、計画に基づく紙上訓練を実施し、見直し実践的な計画に仕上げる様に望みたい。</p> <p><b>コンプライアンス研修を受け、個人情報保護・機密保持等を徹底している</b></p> <p>個人情報保護方針を規定し、保護者からは入園時に個人情報の取り扱いについての同意書を得ている。職員はコンプライアンス研修を受講し(GRC研修)、個人情報保護等を徹底している。また、コンプライアンスコード冊子と個人情報保護方針ガイドラインを事務所に保管し常時確認できるようにしている。実習生は受け入れマニュアルを基に説明し「同意書・誓約書」に記入して貰っている。個人情報などの書類は鍵付きの書庫に保管し、重要な情報が入っているPCは園長のみが使用し、その他PCはパスワードで制限を行い、常勤職員のみが管理している。</p>		

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

#### カテゴリ5の講評

##### 新人は年3回の充実した研修とサポート体制の基で丁寧に育成している

人材確保は本社で大学や保育士養成校と信頼関係を構築し、実習生受け入れ、園見学ツアーなど実施し人材を確保している。新人は入社前研修と年3回の新入社員研修及び専門性を高めるためフォローアップ研修・給食従事者研修を受け、園では数年先輩のサポート職員が付き相談し易い体制の下に育成している。3か月間は業務日報で日々の保育を振り返り丁寧に育成している。相談窓口はサポート職員であるが、全職員で新人を育成する体制にある。サポート職員もサポーター研修を受け、新人育成の役割を担うことで共に学び成長している。

##### 現任職員は階層別研修・職務別研修など豊富な研修を受け視野を広めている

現任職員の育成は年2回保育士自己評価シート、期待役割シートで自己評価し目標を立て、面談を通して今後の成長課題など話し合いモチベーションを高めている。研修は本社でフォローアップ研修、中堅社員研修、リーダー研修、副主任・主任研修、給食従事者研修、えほん研修、知育研修、体育研修など職務別研修など受講している。外部研修は都や区が実施するキャリアアップ研修、アレルギー研修、リスクマネジメント研修などに参加している。園内研修は外部研修を共有し実践化する様に心掛けている。

##### 働きやすい職場づくりに努めている、今後より働き甲斐のある職場に期待する

働きやすい職場づくりのために、無理のないシフト作成、休憩時間の確保、有給休暇の取得、残業の最小化等に配慮し、雑談など積極的に会話し疲労やストレスに早く気づく様に心がけている。困りごとや悩みなど相談し易い体制を整え、会議では皆で意見を出し合い、皆で考える場となるように努めている。行事など役割を決め、お互いに助け合い皆で円滑に進むようにチームワークを大切にしている。今後は一層、保育理念と目標を話し合い、職員の自立・主体性・創意を發揮し、強みや成長を認め合い、感謝し合う信頼関係がより深る様に期待する。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

(事業計画)

園を取り巻く環境条件は少子化と競争激化が進む中で存在価値の高い園の評価を得ることを条件と把握している。利用者ニーズは就労する保護者への配慮、行事への希望、保育の質への希望等と把握し、職員ニーズは余裕のある職員配置とシフト編成、休暇取得、コミュニケーション・人間関係の課題等と把握している。環境分析に基づいて理念を実践する中期計画・事業計画を作成している。事業計画としては、保育体制、指導計画、職員研修、行事予定、安全管理等が計画されている。計画の実行は役割分担を明確にして各種会議で確認している。保育内容は年間・月間指導計画、週日案の実践を振り返ってクラスミーティング、職員会議で確認し次の計画に反映している。職員育成は期待役割シートの自己評価と面談、年間研修計画への計画的な参加、園内研修等で進めている。行事については行事会議、事故防止は安全対策会議等で確認している。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

開設3年目で運営の基礎は確立されたと思われる。今後厳しい立地条件の中で存在価値を発揮するためには、計画の目標を見直し着実に実行に移すことが求められる。現在の事業計画の目標を見直し、保育内容・働きやすく働き甲斐のある職場・保護者連携・地域貢献等について具体的な目標を設定することが望ましい。運営の基礎は確立できたので存在価値が高く認められる目標に向け着実に前進する様に期待したい。そのため、まずは目標を明確にすることが第一条件と思われる。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

(人材育成)

新人は入社前研修と年3回の新入社員研修、フォローアップ研修等を受け、園では数年先輩のサポート職員が付き相談し易い体制の下に、3か月間は業務日報で日々の保育を振り返り助言し育成している。相談窓口はサポート職員であるが、全職員で新人を育成する体制にある。現職員の育成は保育士自己評価シート、期待役割シートで自己評価し目標を立て、面談を通して今後の成長課題など話し合いモチベーションを高めている。研修は本社でフォローアップ研修、中堅社員研修、リーダー研修、副主任・主任研修、給食従事者研修、えほん研修、知育研修、体育研修など職務別研修など受講している。外部研修は都や区が実施するキャリアアップ研修などに参加している。また、働きやすい職場づくりのために、無理のないシフト作成、休憩時間の確保、有給休暇の取得、残業の最小化等に配慮し、雑談など積極的に会話し疲労やストレスを早く気づく様に心がけている。困りごとや悩みなど相談し易い体制を整え、会議では皆で意見を出し皆で考える場となるように努めている。行事など役割を決め、お互いに助け合い皆で円滑に進むようにチームワークを大切にしている。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

3年間で運営の基礎が確立したと思われるが、職員育成では現場で指導するリーダー層の育成を急務としている。保育理念を実践するために「あそびが学びに、学びがあそびに」をテーマとしているが、保育実践の振り返り皆で話し合う機会を定期的に作る事が重要と思われる。また、優れた取り組みの他園見学も重要と思われる。働きやすい職場づくりでは成果があり、今後は働き甲斐のある職場づくりが重要と考えている。保育理念と目標を話し合い、職員の自立・主体性・創意を發揮し、やりたい保育を実践しフィードバックすることが重要と思われる。また、職員一人ひとりの強みや成長を認め合い、感謝し合う信頼関係がより深まる事が重要と思われる。

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>利用希望者が必要な情報はホームページを中心に提供している</p> <p>区のホームページでは、子ども・教育一覧に入園可能数や保育園の情報を提供している。対象年齢として、生後57日目から就学前、延長保育時間20時30分までが紹介されている。窓口には案内用パンフレットを置き広報に努めている。自園のホームページは同系列グループ施設情報と一緒に掲載し、方針、園の特色や行事、生活の流れ、保育内容を写真とともに紹介し、見学には電話やメールからできることを知らせている。また、保護者専用ブログには毎日の給食献立と行事等の様子を随時配信している。園外に地域に向けたお知らせなども提供している。</p> <p>園見学希望者の都合に応じ丁寧に説明している</p> <p>見学希望日を基に、園長と日程の調節をして園見学を実施している。見学時には三つ折りパンフレット・オムツサブスク資料などを配布し、園長による対応を基本としている。園児の普段の生活や遊びの様子が見学できるよう、平日午前中に設定しているが、希望により午後や土曜日見学なども実施している。0歳児クラスは離乳食や保育者との関わり方を中心に説明し、ナーサリー文庫、月間絵本、お散歩マップ、連絡アプリなど紹介している。また、在園児の保護者からの見学も希望により個別対応で実施している。</p> <p>園生活を理解しやすいよう資料を取り揃えている</p> <p>分かりやすいよう、玄関にはクラス交代でドキュメンテーション、取り組み写真、資料を示して説明している。ドキュメンテーションでは遊び、散歩、食事、読み聞かせ、体操、、手洗い、排泄、着脱など日常の生活風景や行事、つどいなどクラスや異年齢合同活動での様子を知らせている。資料として、三つ折りパンフレット「入園のご案内」に保育目標、年間行事予定、生活の流れ、延長保育の利用、入園申し込みなど知りたい情報をまとめて掲載し、提示して説明している。配布用に園の人気給食レシピや、健康に関する資料も選んで持ち帰れるようにしている。</p>		

サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p><b>生活の手引きに重要事項説明書を明示し、説明している</b></p> <p>手引書には、運営主体、園規則、個人情報取り扱い、苦情申し出窓口の設置などの重要事項を記載している。4月入園対象者は2月に説明会、3月に個別面談を開催している。沿革、園規則、行事、個人情報保護方針、苦情申し出説明、入園関係書類、児童票の記入などは記入例を示して園長が説明している。その他個人面談では、担当保育者が保健、衛生、持ち物など園生活に必要なものを、見本品を示しながら説明し質問に応じて進めている。日本語の理解が難しい保護者がいた場合は、書類にルビ付けし、今後自動翻訳などの活用も検討している。</p> <p><b>一人ひとりの子どもの状態や保護者の意向を把握し、園生活に活かしている</b></p> <p>入園説明会后、3月初旬に親子同伴で個別面談を実施している。面談では、記載した入園関係書類を基に、病歴、喘息、アトピーなどのアレルギー、慣れ保育、授乳や離乳食などの食事状況、排泄、遊び、気になることなど子どもの状態や保護者の意向、要望を確認して児童票や健康記録票に記録し生活や保育に活かしている。重要事項説明書についての同意を得ている。また、個人情報保護、同意が必要なことに関しては、手紙の配布や説明で同意を得て同意書を提出していただき園で保管している。</p> <p><b>保護者や子どもの状況に応じて、無理なく新しい環境になれるように努めている</b></p> <p>新入園児が新しい環境や園に無理なく慣れるための期間として、保育時間を徐々に延ばす慣れ保育を実施している。期間は1週間～10日を目安に実施しているが、一律ではなく一人ひとりの心身の状態や保護者の就労状況、意向を把握して柔軟に対応している。配慮としては乳児には一定の保育者が関わるようにしたり、個別対応や保護者と担任が直接話し合う機会を設けるなどに努めている。保護者の不安も取り除けるよう、明るい雰囲気づくりに心がけ、職員全体でコミュニケーションを図っている。園長も登降園時には玄関にて声かけなどに対応している。</p>		



サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	13/13
3 個別状況に応じた計画策定・記録			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
<p>入園時の資料や面談、健康診断などで個別の状況を把握して保育に活かしている</p> <p>入園時の資料や面談では、家庭での生活習慣や睡眠、起床時間、好きな遊び、癖、テレビやビデオの視聴時間、特に配慮を必要とすることなどを話し合い記録し生活に役立てている。健康診断票からは成長過程の様子や経過観察を必要とすることを把握し、年2回の個人面談では発達や遊びの様子を共有するとともに保護者からの質問や意向を聞く機会とし、子どもや保護者の個別の状況に応じた園での生活に反映するよう努めている。保管している指導計画・経過記録・児童票などは必要に応じて確認し、担任以外の職員も日々の保育に活かすようにしている。</p> <p>計画や記録で評価・反省し次の計画に反映している。さらに日誌の活用を期待したい</p> <p>全体的な計画を基に、年齢別話し合いを通し、年間指導計画、月案、週日案を作成し保育実践につなげている。月の指導計画は0歳児から2歳児、特別配慮が必要な子は個別の計画と日々個別記録を作成記録している。面談、連絡などで得た子どもの状況や課題、保護者意向は保育の過程を踏まえて計画の中で無理のないように組み込んでいる。週日案では日々と週の自己評価で反省し子どもの姿を見直し次の計画につなげている。今後は全体で日誌を活用し振り返りを実践事例から拾い上げ、「遊びと学び」を深める話し合いを定期的に持つことを期待したい。</p> <p>職員同士で情報を共有し、子どもの安定した生活につなげている</p> <p>月の全体職員会議、週1回の昼礼、日々クラス話し合い、必要に応じての打ち合わせ、コミュニケーションを図り職員間で情報を共有している。職員会議はクラス・子どもの様子は別紙と口頭でし、食育・給食会議、行事、連絡など報告書も合わせて報告している。昼礼は直近の子どもや保護者の状況、成長や変化、継続見守りなどの情報を共有している。その内容はクラス内で伝達している。非常勤職員も記録を読むことで確認している。当園は休憩時コミュニケーションやチームワーク、情報共有を大切に、子どもの安定した生活につながるよう取り組んでいる。</p>			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>着替えやトイレの際の環境づくりを工夫し、全園児のプライバシーに配慮している</p> <p>水遊びの際はサンシェードを使用し、外から見えないようにしている。1階のテラスで水遊びをした幼児が2階に戻る際には、必ずタオルを巻いて身体を隠して移動するようにしている。着替えの際は手作りの仕切りを置き、男女別に着替えられるようにしており、上を脱いだら上を着るというように全裸にならないように子どもたちへ伝えている。おむつ交換はトイレの近くで行い、手作りの仕切りでトイレへの動線を作ることで、トイレの前でズボンを脱ぐ子がいても、遊んでいる場所からは見えないように配慮している。全園児のプライバシーに配慮している。</p> <p>環境整備やセルフチェック等、子どもを尊重した保育ができるように努めている</p> <p>子どもが何に興味を持っているかを考え、自分の好きな遊びを楽しめるようにコーナー保育などの環境づくりを工夫している。既成のおもちゃだけでなく、空き箱等の廃材を準備し、自由に並べ、重ね、貼り合わせる等子どもの好奇心や創造力が膨らむ活動ができるようにしている。年に1回人権擁護のためのチェックリストで確認し、職員一人ひとりが自身の保育について考え、職員同士意見交換をすることで、常に子どもを尊重した保育ができるよう努めている。また園内研修等を通して、不適切な保育や虐待についても意識できるようにしている。</p> <p>写真掲載の同意を得ると共に、写真での個人情報流出がないよう細心の注意を払っている</p> <p>入園前に個人情報の取り扱いについて説明し、ブログへの写真掲載や写真販売について保護者全員に承諾を得ている。ドキュメンテーションやおたよりで写真を使用する際には、名前と顔が一致しないようにし、個人が特定できないように掲載している。また、運動会等の行事の際には、他の園児の写った写真をSNS等にアップしないよう、行事の度に保護者へ注意喚起も行い、写真での個人情報流出がないように細心の注意を払っている。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-6の講評			
<p>月1回の職員会議、安全対策会議を活用し、サービスの質の向上に努めている</p> <p>月1回実施している安全対策委員会では、事故・怪我やヒヤリハット報告書の振り返り、なぜ怪我が起こったのか等を職員同士、意見交換し原因と対策の検討を行っている。常に安全、安心な保育が行えるように、必要に応じて日常業務の改善も行っている。また月1回の職員会議でも、報告や連絡事項を伝えるだけでなく、クラスごとに子どもの様子をまとめたものを事前に共有し、全クラスの子どもの様子を把握することで、主体性を育む保育についても検討するようにしている。定期的に保育を検討する機会を設けることでサービスの質の向上に努めている。</p> <p>サポーター制度や研修など新人職員が一定水準の業務を行える体制を整えている</p> <p>入職時には、ガイドラインやマニュアルを活用し、業務内容を伝えている。新人職員には3年目以上の職員がサポーターとしてつき、疑問点や不安を何でも相談できるようにしている。分からないことがあった際には、サポーター以外の職員へもいつでも質問できるよう雰囲気作りに努めている。新人職員は最初の3か月、業務日報を記載することで、業務の進行等を職員間で連携し、フォローできるようにしている。また本部主催の入社前研修、新入社員研修、フォローアップ研修と研修が充実しており、新人職員が一定水準の業務を行えるよう体制を整えている。</p> <p>定期的にマニュアルを確認する機会を設け、現場に沿ったものとなるよう努めている</p> <p>運営ガイドラインやマニュアルは事務所に保管しており、業務で悩んだ時には、いつでも確認できるようにしている。本部作成のガイドラインクイズを随時実施することで、分からない点があれば各自マニュアルを確認する等、業務内容を振り返る機会となっている。また、本部職員や園長で構成されている運営品質向上委員会では、現場での疑問や職員から上がった声を基にガイドライン、マニュアル、パンフレット等を必要に応じて改訂を行っており、現場に沿ったものになるよう努めている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>発達過程や生活環境は入園資料や園での観察記録、個人面談などで把握している</p> <p>入園前資料には新入園児の質問票や児童票及び健康調査票、健康診断票、入園までの生活状況記録で把握し、職員会議や昼礼で子どもの様子を共有して保育実践に活かしている。園での子どもの様子は複数担任の視点で観察し、子どもの全体像や特性を総合的に把握した内容を活用している。日々の連絡帳や保護者との直接会話、面談などでは家庭での子どもの様子を把握し、内容は0・1・2歳児は毎日個別日誌に記録し、児童票とともに保管し個別計画で活かしている。3・4・5歳児は経過記録を3か月に1回記録するとともに日々の保育に生かしている。</p> <p>一人ひとりの思いを受けとめて環境を整備し、自信へつながるように支援している</p> <p>子どもの興味や発達を把握して、一人ひとりに寄り添うことを心がけている。幼児は選択して好きな遊びを楽しめるようコーナー保育などの工夫で落ち着いて遊べる環境を整えている。子どもの視線を考慮した遊具配置や安全を考慮した手作り遊具で興味関心を引き出している。合同保育では、遊び方の面白さや違いを見つけ、真似や一緒に遊ぶ関わりから、友だちへの思いに気づき自分で考えて行動する体験を積み重ねている。乳児は発達を考慮し、興味のある事に誘いかけ楽しさを一緒に味わっている。満足した遊びや体験から自信へつながる支援に努めている。</p> <p>トラブルは双方に寄り添いながら、解決の糸口を学ぶ機会としている</p> <p>乳児が遊ぶ時には保育者の立ち位置を担当者で確認している。喧嘩や噛みつきの場合はその場の状況を把握しながら、双方の気持ちに寄り添う関わり方を意識している。言えない思いを言葉にして相手に伝えたり、また気持ちを受け止めて確認している。危険や危害を察知した時は離して空間を作り、落ち着いたところで話すようにしている。幼児の場合は言葉や態度の違いが見られた時は仲介に入り、落ち着いた状態での話し合いを見守っている。解決に向けた保育者の支援としては、信頼関係を基に双方の気持ちが納得でき、解決の糸口を学ぶ機会としている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>家庭での子どもの様子は視診や連絡帳、登園時の会話で確認している</p> <p>登園の際には、視診や保護者との直接会話から様子を把握して登園時伝達表に記入している。早期保育者は健康状態や体調、機嫌、傷などの有り無しを視診し、気づいたことがある時はその場で保護者と会話して記録し、担当保育者に口頭と記録で引き継いでいる。家庭の様子は保育開始前に連絡帳を確認して、体温や健康状態、食欲、便の状態、爪の長さなど総合的に判断して園生活に配慮している。なお、欠席の連絡のない児童の保護者には園長が電話を入れ確認している。</p> <p>生活習慣の自立は個別支援を基本とし、状況は保護者に伝え協力関係を築いている</p> <p>0歳児の睡眠は個々の発達に合わせて確保し、体調よく過ごせるようにしている。5歳児は就学前に向けて徐々に短くし、希望での休息にしている。午睡時5歳児は他のクラスにでかけて寄り添い、眠りへの誘いを喜んで手伝えることもある。1・2歳児排泄は、個々に声掛けをして促し、食事ではスプーンやフォークから箸への移行や食べる意欲を大切に、着脱は一人でやりたい意思を尊重して見守り、発達に応じて無理なく進めている。保護者には連絡帳、園・クラスだより、会話など双方で育ちを確認し合い、関わり方のポイントを伝え協力関係を築いている。</p> <p>子どもの様子は担当が連絡帳や保育中の記録に記入し、遅番保育者から直接伝えている</p> <p>降園時玄関にはクラス交代でドキュメンテーションで今日の活動内容を知らせている。行事や異年齢合同、食育なども写真やコメントで見えるようにしている。日中、子どもの健康状態に変化が生じた時は状況により、保護者に連絡、または伝達表に記載し遅番保育者に口頭で伝えている。登園伝達表は、全保護者に対応できるように1枚の用紙に名前、登園から日中の様子、降園時まで担当者以外の全職員が把握確認できる様式が望ましい。個々の保護者とのコミュニケーションを職員で共有し、込み合う時間帯は対応時間の確保に全職員で協力して実践している。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの動線などに配慮しながら、主体的に関われるような環境づくりを心がけている</p> <p>子どもの自主性・主体性を尊重して、自ら選択して遊べる環境づくりを心がけている。静かに座って遊ぶ空間、玩具を出して遊ぶ空間を分けるようにし、パーテーションを活用しながら、子どもがじっくり遊び込める空間づくりを心がけている。コーナーを設定する際は、子どもの動線に気をつけて配置し、子どもの興味に合わせて、活動内容も変化するようにしている。廃材遊びでは、子どもが欲しい材料を種類別に整え、一人ひとりが好きな材料を使って自分のイメージを存分に表現できるようにすることで、子どもの表現意欲を引き出している。</p> <p>子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、劇遊びなどの保育活動へつなげている</p> <p>子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養うために、乳児クラスでは、子どもの目線や仕草などから「〇〇したいの？」など、保育者が伝えたい気持ちを汲み取ったり、伝えることの喜びや声を出す楽しさが感じられるようにしている。幼児クラスでは、共通の遊びを楽しむ中で、言葉のやり取りを楽しんだり、自分の考えを発表する機会もつづけている。園では、月間絵本や絵本の貸し出しなど、子ども達が絵本に親しむ機会を大切にしており、絵本に触れることで、子どもの想像力を育てたり、発表会での劇ごっこへとつなげている。</p> <p>散歩や公園での戸外活動で、自然と触れ合い季節の変化を感じられるようにしている</p> <p>園の周りには10箇所以上の公園や神社があり、保育活動の中に散歩や公園での戸外活動を多く取り入れるようにしている。玄関に「公園マップ」を掲示し、保護者にも知らせている。散歩では、雲を見たり、風を肌で感じたり、電車が近づく音に耳を澄ませたり、四季折々の木々や草花を見て季節の変化を感じるなど、身近な自然の変化に興味を持たせるようにしている。公園にある木の実や落ち葉を拾って園に持ち帰り、制作活動に取り入れている。見つけた昆虫や木の葉、木の実などは、図鑑や絵本で調べることで、より興味・関心が深められている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>日本の伝統行事に触れる機会を取り入れ、園生活を豊かにするように取り組んでいる</p> <p>園では、子どもの日の集いや七夕、豆まき、ひな祭りなど、日本古来の伝統行事に触れる機会を取り入れ、子ども達の心を豊かなものにするように取り組んでいる。当日は、由来の話を聞き、ペープサートを見たりする楽しい行事になっている。様々なゲームコーナーのある夏祭りでは、4・5歳児クラスがお神輿を作って盛り上げている。毎月の誕生会も大切にしている。スケッチブックシアター、マジックショー、手袋シアターなど、先生たちからの出し物があり、お誕生月の子どもにとって、皆から祝ってもらえる嬉しい1日となっている。</p> <p>運動会やクリスマス発表会の行事では、達成感を味わえるように働きかけている</p> <p>子ども達が皆で話し合い、やり遂げることの喜びや楽しさを味わえるような行事を取り入れている。運動会やクリスマス発表会では、クラスの発達状況や子どもが何に興味を持っているのかなどを考慮し、子どもの意見なども取り入れながら、無理なく行事が進められるように取り組んでいる。行事会議では、各クラスの内容を伝え合い、お互いにアドバイスをしながら進めている。練習の様子を見せ合ったり、幼児クラスでは、劇の役なども自分たちで決めるなど、意欲に関われるようにし、クラスの友達と協力する楽しさや達成感を味わえるようにしている。</p> <p>取り組みの様子を保護者に伝え、理解と協力を得られるように努めている</p> <p>運動会やクリスマス発表会、作品展など保護者参加の行事を計画し、子どもの成長を感じる機会をつくっている。運動会では、保護者参加のプログラムも取り入れ、一体感が味わえるようにしている。行事の取り組みの様子は、園だよりやクラスだより、口頭などで保護者に伝え、子どもの成長を保護者と共有できるように取り組んでいる。年度初めに年間行事予定を保護者に伝え、保護者参加の行事は、参加しやすいように土曜日などに設定している。行事後は保護者にアンケートをお願いし、職員で共有するとともに、次年度へ反映させるようにしている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもが安心して遊べる環境を整えるように取り組んでいる</p> <p>園では異年齢交流を取り入れており、他のクラスと散歩に出かけたり合同で遊ぶことも多く、担任以外の職員にも馴染んでおり、延長保育になっても安心して遊べる環境になっている。指導計画においても、年間・月間の指導計画の中で、保育時間の長い子どもに対する配慮事項を組み込み、子どもの状態に応じた配慮をするように心がけている。一人ひとりの生活リズムや体力に配慮したり、運動量の多い時期には、休息が取れるようにゆったり過ごせる場を設定するなど、環境づくりや遊びの内容に配慮している。水分補給も時間を見ながら声かけをしている。</p> <p>手遊びや絵本の読み聞かせを楽しむ時間も取り入れ、落ち着いて遊べるようにしている</p> <p>お迎え時間に合わせて、1階と2階で合同保育をしている。人数が少なくなってくる17時を目安に、1階に合流するようにしている。合同保育では、ゆったりと落ち着いて遊べるようなコーナー遊びを設定し、遊びの入れ替えなど、飽きない工夫を心がけている。手遊びや絵本の読み聞かせなど、みんなで楽しむ時間もつくっている。18時31分に補食・夕食が提供される。延長保育は18時31分～20時30分で、急な用事で遅くなる時は、スポット保育も利用できる。お迎えが19時30分以降になる場合は、おにぎりのみそ汁の夕食を提供している。</p> <p>保育時間が長くなり保育人数が少なくなっても、安心して過ごせるような配慮をしている</p> <p>保育時間の経過とともに保育人数が少なくなっても、子どもが不安にならないように言葉かけをするなど、安心して過ごせるような配慮をしている。好きな玩具でじっくり遊べるようにしたり、子どもの様子を見ながら、時には抱っこや膝の上に乗せるなどのスキンシップをとるよう心がけ、寂しさや不安を感じさせないように配慮している。担任から延長保育担当の保育者への引き継ぎは、伝達漏れがないように伝達表を使っている。口頭でも確認し合い、担任がいなくても、その日の子どもの様子を保護者に伝えるように心がけている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>行事食など子どもが楽しみにするようなメニューを取り入れ、食への関心を持たせている</p> <p>栄養士は各クラスの食事の様子を見る機会をつくり、食材の大きさや喫食状況などを確認し、毎日の給食に活かしている。子ども達が楽しみにするようなメニューも取り入れている。こいのぼりハヤシライス、セタゼリー、月見ハンバーグ、パンブキンシチューなど、行事にちなんだ給食は、子ども達の「給食大好き」につながっている。保護者からのアンケートでも、高評価を得ている。給食の内容は、毎日ブログで配信し、毎月給食だよりも発行している。玄関に人気メニューのレシピを置き、持ち帰って家庭でも試してもらえるような配慮をしている。</p> <p>アレルギーに対応した食事など、安心・安全な食事が提供できるように取り組んでいる</p> <p>毎月給食会議をおこない、安心・安全な食事の提供ができるように努めている。給食は薄味で、四季の味覚を大切に手づくりのメニューを提供している。添加物をなるべく避けた食品を使い、天然だしなど安全な食品を使用している。当園ではアレルギー食や宗教食の提供をしている。アレルギー児に対しては、月1回担任や栄養士と保護者が面談をおこない、職員間でも情報を共有している。アレルギー児の食器は色を変えわかりやすくし、トレーにアレルゲンの記載をして誤食の無いようにしている。クラスでは、テーブルを別にするなどの配慮をしている。</p> <p>栽培活動やクッキングなどの食育活動を取り入れ、食への興味を持たせている</p> <p>栄養士と保育士が協力して食育の内容を話し合い、食材に触れたりクッキングを取り入れるなど、様々な経験ができるように計画している。近くの八百屋へ食材を買いに出かけたり、タマネギやそら豆の皮むき、ピーマンの種取りなどで、匂いを嗅いだり、触ったり、ちぎったりしながら、食材への興味が広がるようにしている。1歳児は、寒天の感触を味わう経験をした。キュウリやトマトを使った野菜あてゲームも、食材の特徴を知る機会となっている。クッキングでは、クッキーやバターづくりを経験し、ジャガイモの栽培で収穫の喜びを味わっている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>室内環境を整え、病気や怪我を予防・防止するための取り組みをしている</p> <p>室内は24時間換気をおこない、空気清浄機や加湿器を併用しながら、快適な保育環境をつくるようにしている。室内や玩具の消毒も徹底するようにしている。年齢に応じて、滑り止めシートやぶつかり防止クッションなどの配慮をおこなっている。また、安全対策会議において、怪我やヒヤリ・ハットの共有、安全な環境構成の工夫について話し合い、改善に向けた検討をおこなっている。子ども達には、絵本などを活用して健康や安全について分かりやすく伝えるようにしている。幼児クラスでは、危険なことはお互いに注意し合うなどの姿も見られている。</p> <p>年間保健計画を作成し、子どもの健康と安全に向けた取り組みをおこなっている</p> <p>年間保健計画が作成されており、目標に対しての活動内容や留意点、保護者への保健指導などを盛り込んでいる。さらに、嘔吐処理研修、SIDSチェックの確認、アレルギー対応研修、救命救急研修など、年間を通して職員研修が計画されている。救命救急研修では、動画を見た後、実際に人形を使って心肺蘇生の仕方を学んでいる。SIDSチェックでは、今まで以上に徹底することを確認することができた。期ごとの振り返りもおこなっており、その都度改善しながら、子どもの健康面や安全に対し、職員全員で取り組むように努めている。</p> <p>保護者と連携を図り、子どもの健康維持に向けた取り組みをおこなっている</p> <p>玄関には感染症発症状況を知らせるボードがあり、クラスごとに発症状況がわかるようになっている。また、インフルエンザなど、流行している感染症に対して、保護者の目につきやすいように案内を掲示したり、子どもがかかりやすい病気についてのミニおたよりを準備し、持ち帰れるように設置するなど、感染症予防に対して保護者に注意喚起をするように心がけている。毎月ほけんだよりも発行している。毎日の子どもの健康状態は、連絡帳アプリで共有するほか、保護者との口頭でのやりとりを大切に、視診を丁寧におこなうように努めている。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>急な延長保育・仕事がない日の預かり等、就労する保護者へ柔軟な対応をしている</p> <p>保護者が安心して預けることができるように、保護者の就労状況等を伺い、保育時間を決定している。急に残業になった場合にも電話かアプリでの連絡があれば柔軟な対応をしている。急に延長保育になった子どもにも補食が提供出来るようにし、保護者へも寄り添った声掛けをすることで、保護者が安心して働けるようにしている。また、状況を伺いながら、保護者の通院やお休みの日にも子どもを預かる等、保護者がリフレッシュし、余裕を持った子育てができるようにサポートもしている。</p> <p>保護者が参加しやすいよう行事を設定し、保護者同士の親睦を深めるよう努めている</p> <p>就労している保護者が参加しやすいように、保護者の参加する行事は土曜日に行っている。年度の初めに年間予定を伝え、行事が近くなったらお知らせをICTアプリで配信、玄関の掲示板でもご案内をする等、保護者が日程調整しやすいように工夫している。また、年2回行っている個人面談も保護者が参加しやすいお迎えの時間帯に設定し、保護者の都合によっては18時以降も対応している。コロナ禍の影響もあり昨年度までは保護者同士の交流の機会は多くなかったが、今年度はクラス懇談会の内容を工夫し、保護者同士の親睦を深めるように努めている。</p> <p>保育の様子を伝えているが、保護者への声掛けの意識をさらに高めることを期待したい</p> <p>保護者と接する際には、笑顔で対応し、疲れている様子の時は「大丈夫ですか?」と声掛けする等、保護者の状況に合わせたコミュニケーションをとるようにしている。保育の様子は毎日アプリで配信し、行事等は保護者のみが閲覧できるブログで様子を伝えている。各クラス週1回写真入りのドキュメンテーションを玄関に掲示する等保育の様子がより伝わるように工夫をしている。保護者アンケートでは一部ではありますが、園の様子が分かりにくい等の意見も出ていることから、職員間で情報共有し、保護者への声掛けの意識をさらに高めることを期待したい。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>近所の八百屋さんへ買い物に行く体験を通して、様々な学びへつなげている</p> <p>幼児クラスでは食育の一環で近所の八百屋さんへ買い物に行く体験を行っている。買い物に行く時の約束や野菜がどうやって売られているか等、楽しい体験を通して学びにつなげている。店員さんや近隣の方にも声をかけてもらい、園の職員以外との交流の機会にもなっている。買い物したものをいくつかに分け、子どもたちが園まで持ち帰ることで、買い物をする大変さや日々買い物をしている保護者への感謝の気持ちも育めるように工夫している。また、ドキュメンテーションやブログ等で保護者へ報告することで、自宅での会話にもつなげられるようにしている。</p> <p>近隣施設の情報提供や交流、ボランティア受け入れ等繋がりを広げるよう努めている</p> <p>地域の町内会長と連携し、近隣のお祭りの情報を園内に掲示することで、近隣の行事に親子で参加できるようにしている。園の外に地域に向けたお知らせ等を掲示し、地域の方への情報提供も行っている。昨年度は実習生3名、高校生ボランティアを1名受け入れ、子どもたちが職員以外の人とも関わる機会を作っている。また、今年度は勤労感謝の日に因んで近所のお店の方にお手紙を書くことを予定しており、地域の繋がりを広げていくよう努めている。</p> <p>小学校との繋がりを他園との交流等、子どもの活動の幅が広がるよう努めている</p> <p>園長会や連携協議会に参加し、地域の様子や他園の取り組み・悩みなどの情報収集を行っている。隣接する保育園や幼稚園が多い地域であるため、私立保育園と小学校の連携が難しく、小学校見学等を実現できていないが、今年度は小学校の体育館で運動会を実施予定であり、園児が小学校に行く機会を作っている。近隣の保育園6園で年長児の交流会も企画しており、他園の子どもと関わられるように努めている。他園との交流や小学校との連携などは今後より深めていくことを期待したい。</p>		



事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-3-3	子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している
タイトル①	誰が見ても分かる記録を作成し、日常生活が安定するように実践している	
内容①	誰が見ても分かる記録から、生活や遊びに活かされるよう全職員で取り組んでいる。一人ひとりを理解して捉えた個別日誌、週日案日誌には、日々の活動評価と、週の自己評価が各クラスに記載されている。落ち着いた環境で好きな遊びが満足できるよう、保育を振り返りその評価を踏まえて計画を作成するよう取り組んでいる。子どもを理解した目で捉えた記録は、誰が見ても分かる記録にしようと、全職員で話し合い共有している。指導計画では課題と問題の捉え方を園長や副主任が確認して、助言するなど日常生活が安定するよう、記録を活用して実践している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル②	園全体で子どもの主体的な環境を整え、一人ひとりの心身の発達を支援している	
内容②	園での子どもの様子は複数担任の視点で観察し、子どもの全体像や特性を総合的に把握し、日々の連絡帳や保護者との直接会話、面談などでは家庭での子どもの様子を把握して、全職員で子ども一人ひとり元気いっぱい楽しみのある園生活になるよう支援している。子どもの言葉や会話、表情、興味や関心に寄り添い、関わりと環境設定を話し合い実践している。動線に配慮した室内遊びでは選択できるコーナーの玩具や廃材、興味ある絵本など発達に合わせて用意し、個々の主体性を高めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル③	子どもの興味・関心を大切に、子ども主体の行事ができるように取り組んでいる	
内容③	子ども達が皆で話し合い、やり遂げることの喜びや楽しさを味わえるような行事を取り入れている。玄関に大きな笹を飾る七夕、節分やひな祭りなど、昔からの伝統行事を大切に、子どもの心を育てる行事を取り入れ、8月の夏祭りでは、4～5歳児がお神輿を作って盛り上げている。子どもの主体性を大切に、幼児クラスでは発表会の劇の役を自分たちで決めたり、友達と一緒に取り組む楽しさを味わえるようにしている。作品展では、日々の保育の中で取り組んだ作品の中から、3点程度を選んで飾り、子ども達の成長を保護者にも見てもらおう場となっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの「やりたい」に寄り添い、じっくり遊び込める空間をつくり出し、夢中になって遊び込み、主体性を育む保育に力を入れている
	内容	保育方針のひとつに『子どもの「やりたい」にことごと寄り添い、「好き」を探求する時間を大切にします』を掲げ、子ども一人ひとりと丁寧に関わり、子どもが自分で遊びを選べる環境設定を心がけている。乳児クラスでは、子どもの目線に合わせて電車などの手作り玩具が置かれ、パーテーションも手作りで、落ち着いて遊べる空間をつくり出している。幼児クラスの廃材遊びでは、子どもが使いたい材料を種類別に整え、イメージを思う存分表現できるようにしている。子どもが夢中になって遊び込み、主体性や好奇心、集中力など育む保育に力を入れている。
2	タイトル	保育理念を実践するために、子ども一人ひとりの情報を全員で共有し、助け合ってチームで保育をする意識を高めている
	内容	「育ちのチカラが輝く、心ゆたかな未来をつむぐ」保育理念を実践できるように、子ども一人ひとりの情報を全員で共有し、声をかけ合い、助け合って実践している。昼礼で各クラスの情報を共有し、日々こまめに子どもの様子を共有し、保護者に担任だけでなく他職員も子どもの様子を伝え、成長と一緒に喜ぶ様に努めている。会議では職員で話し合う機会を増やし、チームで保育をする意識を高めている。また、職員は本社での充実した研修に参加し、階層別研修、職務分野別研修を受け視野の拡大を図っている。
3	タイトル	様々な食材に触れる経験やクッキングを取り入れるなど、栄養士と保育者が協力して食への興味・関心を育てている
	内容	食育の大きな目標を「あそびから学びへつながる食育」とし、食育年間計画を立て食への興味を持たせている。タマネギの皮むき、ピーマンの種取り、そら豆の皮むきなど、様々な食材に触れる経験をしている。クッキーづくりやスイートポテトづくりなどのクッキングも楽しい活動となっている。ジャガイモの栽培では、2～5歳児を中心に水あげのお世話をし、収穫の喜びを味わうことが出来ている。試食したジャガイモは、特別感のある美味しいおやつとなっている。食育活動の様子はブログで保護者に知らせ、家庭と一体となった食育活動を展開している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	職員は豊富な研修の機会があり、保育実践を日誌等で丁寧に振り返っている。今後、実践事例で「あそびと学び」の話し合いを期待したい
	内容	職員の研修体系は充実しており、階層別の初任者研修、中堅研修、リーダー研修、主任・副主任研修など階層別研修や保育のえほん研修、知育研修、体育研修など職務分野別研修が豊富で職員は知識や視野を拡大する機会が多い。また、都や区の研修、キャリアアップ研修に参加している。園内では外部研修参加者の共有研修を行っている。保育実践の振り返りでは日誌や週案の振り返りを丁寧にを行い、園長・リーダーの助言を得て保育の充実を図っている。さらに、園内研修で保育実践の事例で「あそびと学び」を話し合い一層の充実を期待したい。
2	タイトル	開設3年目で保護者アンケート結果では高い評価を得ている。今後一層、保育レベルの高い、職員が働き甲斐のある職場への発展を期待したい
	内容	開設3年目であるが、保護者アンケート結果の総合満足では「満足以上」回答が96%。保育内容に関する項目の満足回答もほぼ100%と高い評価を得ている。職員体制も助け合い良いチームワークを構築している。計画については中期計画と年度計画が策定されている。当地域には多くの競合保育園・幼稚園があり、今後少子化に向けて競争激化が予測され存在価値の高い園が求められる。今後、計画と目標を見直し、保育内容・働きやすく働き甲斐のある職場・保護者連携・地域貢献等について具体的な目標を設定し一層の発展を期待したい。
3	タイトル	地域の人との関わりが持てるよう努めている、今後、子どもの生活に広がりを持てるよう、より地域との交流をより深めていくことを期待する
	内容	幼児クラスでは、勤労感謝の日に因んで近隣の店舗へお手紙を渡す企画や食育の一環で近所の八百屋さんへ買い物に行く等、近隣施設との交流に努めている。また実習生の受入れを行い、子どもたちが職員以外の人と関わる機会も持てるようにしている。園長会や連携協議会にて地域の情報収集をし、小学校や他園との交流を持てるように努めているが、近隣に保育施設が多いこともあり、小学校との連携や他園との交流の日程調整が難しい状況もあるが、今後一層子どもの生活に広がりを持てるよう地域との連携や交流をより深めていくことを期待したい。